

もり 銀の森林通信

～大田市森林組合 広報誌～

平成24年8月

第67号

内容紹介

- 組合長挨拶
- 平成24年度通常総代会
- 大田の森林に新たな風が吹く～現業職員紹介～
- 大田市林友会活動記
- つくってあそぼう木工館
- 水を貯え空気をきれいに～組合事業紹介～
- ちいさな依頼でもご遠慮なく

去年の表紙を飾った三瓶山に続き、今年も大田市内の山が表紙です。
さて、なんという山かご存知ですか…？

山の名前を記入してご応募ください。抽選で記念品を差し上げます。

応募方法

①山の名前 ②ご氏名 ③組合員番号（宛名の下にある6桁の番号）の3点を記載して、
ハガキ・ファクシミリ（0854-82-8013）・メール（mail@oda-fc.com）にて送付ください。

注）締切は11月30日です。なお、電話によるご応募は受け付けておりませんのでご注意ください。

平成23年度を振り返って

代表理事組合長
神谷光夫

昨年は、東日本大震災及び台風による大きな災害が全国各地において発生致しました。被災地の皆様は、未だに避難生活を余儀なくされており、一日も早い復旧復興を願うものです。

さて、大田市森林組合では、前年同様、公共工事減少等の厳しい経営環境下、災害・事故のない現場を目指すとともに、健全経営の継続を期して役職員及び作業班員一体となり全力を尽くしてまいりました。

5月30日に開催致しました総代会において、平成23年度の決算及び、平成24年度の事業計画が承認されました。黒字決算を踏まえ、出資配当を2%とし、出資金に振り替えさせていただくことも併せて決議されました。厳しい経済状況下において、このような結果を報告できましたことは、組合員各位のご理解・ご協力と、国・県・市等関係機関のご指導、また作業班員の努力のおかげと深く感謝の意を表し、お礼を申し上げます。国は林業再生の方向性として森

林・林業再生プランを示しています。大田地域においてもこの施策を活用していく必要があります。

地域の森林は、戦後造林期から50年を経過しようとしており、伐採期を迎えた山も多くあります。組合員の皆様のご理解・ご協力を得ながら、施業を集約化し効率のよい方法をとることにより、皆様に対し、少しでも多くの利益を還元するためには、さらなる努力を重ねたいと考えております。

作業班におきましては、社会環境及び業務内容の変化により、本年6月1日より雇用形態を全面的に組み替え、全員現業職員化しました。

今年度からは一年を通じた業務量確保が課題となります。家周りの草刈り等諸事ご相談いたくなど、組合員の皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

私事ではありますが、来年の総代会を以つて役員定年の内規により役職を辞することとなります。本日までご協力いただきました組合員の皆様方への感謝をこめて、最後の一年間を大田市森林組合作業班員表彰張る所存であります。引き続き皆様方のご協力の程、お願い申し上げます。

平成24年度 通常総代会開催 提出議案承認決定

5月30日サンレディー大田において、平成24年度大田市森林組合通常総代会を開催しました。

竹腰創一大田市長様、景山弘一島根県西部農林振興センター所長様はじめ多数のご来賓のご列席をいただき、総代203名（内、書面議決

57名、代理人3名）の出席を得て、議長に仁摩町藤間元康氏を選任して議事に入り、提出した議案はいずれも原案どおり可決承認されました。なお、出資配当金は、資本強化のため出資金に振り向けさせていただき、総代203名（内、書面議決

くことに決定されました。



竹腰市長



藤間議長

永年勤続作業班員表彰

5月30日開催の総代会の席上において、大田市森林組合作業班員表彰規定に基づき永年勤続者に対し、表

彰状と記念品を贈り、永年にわたる労をねぎらいました。おめでとうございます。

勤続20年表彰
久利町
山下定美勤続10年表彰
久手町
田中幸昌

平成24年度 通常総代会

I. 貸借対照表

(平成24年3月31日現在) (単位:円)			
資産の部	金額	負債・純資産の部	金額
現金・預金	136,701,452	買掛金	1,677,135
受取手形	993,040	未払金	31,545,609
売掛金	7,959,413	未払法人税等	6,933,700
棚卸資産	4,966,041	賞与引当金	2,435,999
前払費用	1,151,821	前受金	5,052,154
未収金	140,303,970	預り金	3,407,499
立替金	1,321,705	受託販売預り金	3,278,097
長期預け金	210,268	未払消費税	2,073,500
流動資産計	293,607,710	流動負債計	56,403,693
減価償却資産	15,146,740	長期借入金	1,270,000
土地	34,458,102	退職給付引当金	36,241,541
森林	17,879,658	農林漁業資金借入金	6,845,761
電話加入権	135,022	固定負債計	44,357,302
系統出資金	15,880,000	負債合計	100,760,995
系統外出資金	1,747,000	出資金	108,330,600
農林漁業資金貸付金	6,201,643	法定準備金	41,067,732
リサイクル預託金	132,170	任意積立金	110,079,457
固定資産計	91,580,335	当期末処分剰余金	20,309,755
		資本準備金	4,639,506
		純資産合計	284,427,050
合計	385,188,045	合計	385,188,045

(部門別損益計算書)

部門	収益	費用	損益
指導	16,400	1,177,348	-1,160,948
販売	27,886,919	19,398,079	8,488,840
森林整備	347,611,533	251,234,778	96,376,755
森林整備	184,300,681	135,489,784	48,810,897
利用	153,571,966	107,762,290	45,809,676
林地供給	0	0	0
福利厚生	22,776	0	22,776
購買(事業物資)	9,174,289	7,604,674	1,569,615
購買(生活物資)	54,700	47,000	7,700
金融	487,121	331,030	156,091
合計	375,514,852	271,810,205	103,704,647

III. 平成23年度剰余金処分について

(単位:円)
前期繰越剰余金
当期剰余金
合計
2. 剰余金処分額
法定準備金
任意積立金(損失補填積立金)
出資配当金(出資金の2%)
合計
3. 次期繰越剰余金

脚注 1. 出資配当金は300円を1口として出資金に振り替え、1口300円に満たない額は出資預り金とする。
2. 次期繰越剰余金のうち教育情報資金は、460,000円である。

す。これらのことから、この厳しい経済状況のなかで黒字決算ができましたことは、これも偏に組合員各位のご協力と島根県及び大田市並びに関係諸機関各位のご指導ご支援の賜物であります。深く感謝するとともに厚くお礼申しあげます。

これら損益を計画対比の数字で見ますと、販売部門で443万4千円増の20.9%、森林整備部門で670万9千円増の11.6%、利用部門で78万9千円増の10.2%、事業総損益で1240万2千円増の1.1%という結果でした。

平成23年度事業報告
事業活動の概況(抜粋)

昨年は、東日本大震災をはじめ全国各地で台風等による被害が発生しました。被災地における、一日も早い復旧復興を願うものであります。

さて、「森林・林業再生プラン」を法面で具体化するため、森林法の一部が改正され昨年4月に公布されたところです。

こうした中、充実しつつある地域の森林資源を有効かつ循環的に利用するため、「集約化施業」の推進を図り路網整備の拡充と木材生産団地設定に重点的に取り組みました。その結果、路網開設距離、素材生産量ともに計画を上回る事ができました。

平成24年度事業計画
運営の基本方針(抜粋)

昨年の7月26日、新しい森林・林業基本計画が閣議決定されました。今回の基本計画においては、森林施業の集約化や路網整備など「森林・林業再生プラン」の実現に向けた取り組みを推進し、民間・主導型で自立経営を実践することが求められています。

こうした中、当組合としても「大田市森林整備計画」に基づいて利用されることにより施業提案を通じた主体的間伐・主伐事業等に主体的に取り組み、もつて組合員への利益還元に資することを優先課題とします。

そのため事務職員においては、組合員とのより緊密な意思疎通を図ることにより施業提案を通じた主体的な事業掘り起しを、現場作業においては、従来からの作業班体制を改めて作業班員全員を月給制としてより一層の技術能力向上への取り組みと機動性の向上を図ります。

地域森林資源の価値を増すことにより組合員の地位向上を図り、同時に地域への貢献を果たすため役職員・作業班員一体となり鋭意努力する所存でありますので、関係諸機関のご指導ご支援と組合員の皆様のよ

もり 大田の森林に新たな風が吹く!!

～メンバー体制、作業効率、気合を改革しました～

林産1係



▲林産1係のメンバー

上段左より 本村貴博 大谷寛 藤原浩 横隆彦
下段左より 長谷田浩一 中山大介 松田敏彦

私のグループは、主に雑工、間伐、搬出ということで大変経験のいる仕事だと思います。組合員の皆様方の期待に応えられるよう、私の経験を活かし、安全・健康・やりがいのある職場を目指し、メンバーを指導し育てていきたいと思っています。

JForest 大田市森林組合



林産1係
グループリーダー

まつだ としひこ

松田 敏彦

〒694-0064
島根県大田市大田町大田 01047番地3
Tel. 0854-82-8500 Fax. 0854-82-8013



林産2係



JForest 大田市森林組合



林産2係
グループリーダー

さんじょう よしみ

三登 芳己

〒694-0064
島根県大田市大田町大田 01047番地3
Tel. 0854-82-8500 Fax. 0854-82-8013



新たなグループ構成となり、今はメンバーとのコミュニケーションをしっかりとることによって、みんなが互いのことをよく知り、協力し合える良い関係を築き、そしてケガなく作業できることを第一に考えています。これからも安全に気をつけ、また、自分の今までの経験を活かし若手をしっかりと育てていきたいと思います。よろしくお願いします。



▲林産2係のメンバー

上段左より 大澤識仁 稔田孝幸 秋森健太
下段左より 松本義明 三登芳己 川角浩司

林産3係



▲林産3係のメンバー

上段左より 中島健登 真野明政 田中幸昌
下段左より 森山禎彦 松村慶起

JForest 大田市森林組合



林産3係
グループリーダー

まの あきまさ

真野 明政

〒694-0064
島根県大田市大田町大田 01047番地3
Tel. 0854-82-8500 Fax. 0854-82-8013



主として木の伐採、集材、搬出をするいわゆる利用間伐の仕事をする係であります。4人の若くて森づくりに情熱あふれたメンバーと共に組合員さんの期待に応えるべく日々琢磨しながら行く所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

森林を育むことに誇りとよろこびを感じ、研鑽に励みます

大田の森林に新たな風が吹く ~現業職員紹介~

路網1係



▲路網1係のメンバー

左より 幸村善治 山下定美 川上悟 黒石卓也



JForest 大田市森林組合

路網1係
グループリーダー
やました さだみ
山下 定美

〒694-0064
島根県大田市大田町大田 01047番地3
Tel. 0854-82-8500 Fax. 0854-82-8013

伐木、造材、搬出する為必要な道づくりを行っています。そうした道づくりをして行く上でまた、リーダーとして組合員の皆様方の期待に応えられるよう、今迄以上に努力し使いやすく壊れない道づくりを目指し邁進していきたいと思っております。組合員様そして地域の皆様方のご指導、ご協力をお願い致します。

路網2係



JForest 大田市森林組合

路網2係
グループリーダー
くまがい ゆうじ
熊谷 裕治

〒694-0064
島根県大田市大田町大田 01047番地3
Tel. 0854-82-8500 Fax. 0854-82-8013



▲路網2係のメンバー

上段左より 幸村定 笠井駿
下段左より 熊谷裕治 高野昌也

造林1係



▲造林1係のメンバー

上段左より 渡邊功一 才峰敬一郎 矢崎経弘
下段左より 山本典男 和田譲二

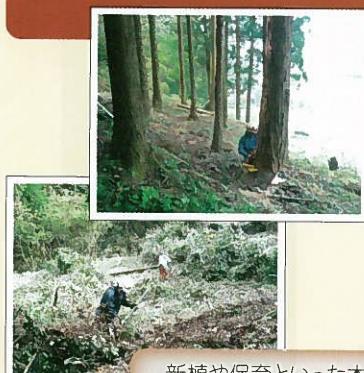
JForest 大田市森林組合

グループリーダー
さいのと けいいちろう
才峰 敬一郎

〒694-0064
島根県大田市大田町大田 01047番地3
Tel. 0854-82-8500 Fax. 0854-82-8013

山の高峰にまっすぐな線を入れ、大切に一本一本の苗を植えて行く、それが始まり。その一本一本が林になるまで育ててゆく。みんなが描くきれいな林になるまで。それが造林。私たちの誇りある仕事。檜の林、桜の林、造りたかったら私たちがお手伝いします。よろしく!!!

森林の価値を高め、組合員の地位向上に努めます

造林2係

新植や保育といった木を育てる作業と雑工を主にやっています。私を含め5人のメンバーで造林2係は構成されておりますが、皆どのようにしたら組合員さんの期待に応えることができるかを考え、切磋琢磨しながら日々作業に取り組んでおります。よろしくお願ひします。



▲造林2係のメンバー
上段左より 林清吉 曽根政典 穂井頼
下段左より 原田清 原和孝

現場作業班体制改編にあたって

常務理事 皆 田 修 司



大田市森林組合では、本年6月より現場作業体制を従来の固定された作業班体制から流動性のあるグループ制へ、また作業班員の身分を現業職員として位置づけ、賃金体系を日給出来高制から月給制へと移行しました。

国は、成熟した国内森林資源の現況及び森林組合をはじめとする林業界の事情を踏まえ「森林・林業再生プラン」の実行による停滞している国内林業の再生を目指しています。この再生プランでは、森林の面的まとまりをつくり、施業を集約化する事によって効率的な事業を行うこと、また、森林所有者が策定する「森林経営計画」を前提として、当面、利用間伐の推進及び路網整備に重点を置くこととしています。この状況下での森林組合の役割は、①行政と協力して地域の森林・林業の方向性を明らかにすることと、②森林所有者と連携を強め、森林施業の集約化と経営計画の樹立を推進することの2点となります。同時に林業政策の変動に対応しての現場作業体制の再構築も必要となっていました。



このたびの改編は、従前の植栽・保育といった造林事業に対応する作業班体制から、これから重点が置かれる素材生産及び路網整備に対応できる機動的な現場作業体制へ変更するものです。現業職員34名は6月以降、気持ちも新たに、作業効率向上を目指すとともにさらなる高度の技術習得に向けて日々研鑽を重ねています。

現場で見かけられたときには、親しくお声を掛けて頂き、叱咤激励を頂きますようよろしくお願ひいたします。



▲決意表明をする熊谷グループリーダー

事務職員移動

事務職員の人事異動がございましたので、お知らせします。



林達夫業務課長が、
6月1日より参事に
就任しました。



杉本博文総務課長補佐が、
6月1日より総務課長に
就任しました。

大田市林友会活動記



▲設置を終えて

大田市林友会活動記

ヨロイマツ 鎧松の案内表示板

大森町の石見銀山世界遺産センター後方のあずま屋に向かう登山道沿いに植えられている鎧松（32本、17年生）の案内表示板（縦40cm、横60cm）を平成24年2月14日に設置した。これまで「鎧松展示林」と刻んである御影石の石柱（縦100cm、横15cm、奥行12cm）が設置されていたが、詳しい説明はなかった。

そこで、大田市林友会が珍しい鎧松の育成に努力していることを多くの人々に知つてもらおうと、島根県県央事務所林業部林業普及グループのご指導により当会会員の作業で石柱近くに設置した。作業はあいにくの小雨の中ではあつたが立派に完成し満足のいく仕上がりであった。

ときあたかも今年は石見銀山遺跡世界遺産登録五周年記念。市民をはじめ観光客の皆さんにも大田市林友会が丹精込めていた鎧松についての理解と関心がますます高

まっていくことを期待したい。山の中腹にあるあずまやまで登られるとまでは是非足を止めて表示板を読み、実際の鎧松を見ていただきたいものである。

ヨロイマツ（鎧松）展示林



ヨロイマツ
「鎧松」は、樹皮鱗片の下側が反って樹幹を一周する特徴を有し、材に挽くと特異な空目を表すアカマツやクロマツです。

これまで大田市内でのみ確認されてきた希少なものであり、マツクイムシ被害で一時は絶滅したと思われていましたが、平成5年に大田市久利町の山林で残存木が確認されました。

これを契機に、大田市森林組合と大田市林友会（林業研究グループ）が協力して、大田市内の残存木確認を行い、遺伝子を保存する目的により母樹保護、接ぎ木増殖活動に取り組んでいます。

平成24年2月設置 大田市林友会

▲案内表示板

真庭市森林組合、真庭森林・
林業研究会 先進地視察
—岡山県真庭市—

（平成23年10月24日～25日）

毎年行っている先進地視察を平

美林（美作桧モデル林）にて

成23年度は岡

山県真庭市を選び10月24日に出かけた。

実際の取り組み（森林資源調査・林地残材の有効活用）を見聞き、また現地調査を行った。



に見聞き、また現地調査を行った。手入れされた美林（美作桧モデル林）やバイオマス工場を見学し、多くの収穫を得た視察となつた。今回は諸事情でわずか8名という少人数であった。真庭林研は、平成23年度中国四国林研グループ研究大会で代表になった。真庭林研は、平成24年2月28日～29日に全国大会でも発表されておりその先進的な取り組みは全国に知れ渡っている。

山本山林現場で学ぶ日帰り研修
—出雲市—

（平成24年3月22日）

出雲民芸館所有の山本和正氏父子の山林に対する熱い思いと取り組みは目を見張るものがあった。お宅でお聞きした話と実際の枝打ち（カーツ枝打ち機）現場での説明と実演を詳しく紹介してもらいよく理解できた。二百数十町歩の山はすべて管理されて間伐枝打ち等の手が行

き届いていること。和正氏も連日のように山に入り作業をしておられる。山での動作は実際に無駄が無く鮮やかであった。

石川県からの林業専門家が山本家を訪問しておられ和正氏の話を一緒に聞き、また説明していただいた。山へも同行され、石川県の林業の取り組みやアスナロ植栽の話などもしていただき興味深かった。



説明に聞き入る会員



平成26年度中国四国林研グループ研究大会において大田市林友会が県代表として発表することとなつた。これまでの事業や視察が生きた発表となるようになつた。そのためにも林友会会員の力を一層結集し更なる研鑽を積んでいかなければならぬ。

（林友会会長 和田秀夫記）

つくってあそぼう木工館!!

さんべの自然に囲まれた木工館で
のんびりと創作体験しませんか



ご家族やお友達と一緒に
思い出づくりに♪



子ども会や学級活動、グループなど
団体でもご利用できます!



木工体験は予約なしで利用できます♪



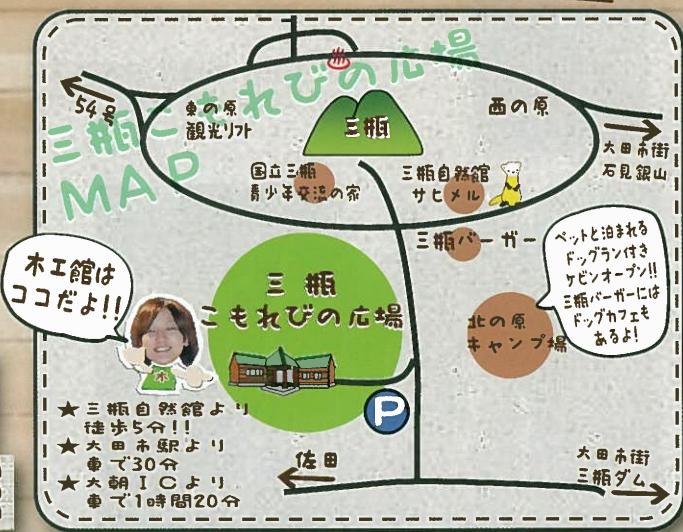
いつでも、キーホルダー・パズル、輪ゴム鉄砲
小物入れ、本立て、写真立てなど…
見本の中から選んで作ることができますよ!

キーホルダー、ペンダント
コマ・マイ箸づくり
★500円

ベンスタンド、鍋敷き
★600円
エトの組木、パズル、写真立て
★800円

輪ゴム鉄砲、くるま
★1,000円
サイコロカレンダー、貯金箱
★1,200円

ビーエコロギー★1,300円
小物入れ★1,500円
本立て★2,000円



- ◆木工教室
- ◆木工ろくろ教室
- ◆トールペイント教室

- ◆炭をつくってみよう
6月・12月・3月
- ◆さんべ祭 10月
- ◆島根県技能祭(松江)11月

- ◆クリスマスリース 11月
- ◆ミニかどまつ作り 12月
- ◆みつばちの巣箱作り 3月

その他のイベント情報や
教室の詳細については
木工館ホームページまたは
ブログをご覧下さい。

★つくってあそぼう木工体験★ わくわく♪ドキドキ♪体験レポート!!

ほのちゃんとお父さんの親子で木工体験♪



レンコン鍋敷き
お部屋の飾りシェルフ

いつも木工を楽しみに。
三回目で来ています。
今回で5回目の木工館
ですが、優しいお姉さん
楽しいおじさん達とて
モテますな場所です。
前回は本立てシェルフ
でしたが、次も部屋に
飾れる物を作りたい
です。

ほの

中学校の授業以来になります。
娘の協力のあいさで、娘の協力
を無事に出来上がり、最高
のお仕事になりました。
素晴らしい環境で、
いつも家族で貴重な体験
もさせて貰えます。
お父さん

Here we go!! ☆STAFF☆



TATSUO★TERAMOTO

YASUHO★HASEDA



焼板仕上げ!
パートナーで板を
焼いています!

うまい!
うまい!

横から
釘うち
難しい!



まずはてらっちと相談!
どんな大きさ? 材料は?



お家に合わせた大きさの
キッチン食器棚

食器棚がほしい~でしょ?
手作りでいい~みんな作るみたい!!
始めたばかりで、まだ時ひらめいた!!
まだ未完成!! まだもへとドロドロ
しばらく門をたたいてました。
これはね、木工館の27.1mを知らない者にして
直立と垂直にストレートに作りたい
仕事とでも言えども。
本当にありがとうございました。



木炭をつくってみませんか!!

木炭にする木を割り、窯につめ火をいれ、窯を開き取り出すまでを体験します！

【日程】6月・12月・3月
年3回予定

炭の販売もしております

2.5 kg	500円
4.5 kg	800円
10 kg	1,575円

三瓶こもれびの広場 木工館

島根県大田市山口町山口 6138-1
TEL (0854) 86-0182

★木工体験は予約無しで利用できます！★
【開館時間】9:30~17:00 (体験受付 16:30まで)
【休館日】毎週火曜日 【入館料】無料
<http://www.ginzan-tv.ne.jp/~mokkowan/>

水を貯え 空気をきれいに

まわりを見回せば当たり前の光景としてある森林。
もり

水を貯え、空気をきれいに。

そんなとっても大切な役割を担ってくれています。

かつての里山の風景は、ただ自然任せただけのものではなかったはずです。

この広報誌が届いている皆様は大田市森林組合の組合員さんです。

それと同時に大切な山林所有者でいらっしゃるのです。

ほんの少しだけ、ご自分の山のことを考えてみられませんか?

補助金の活用

人の手で植えた森林は、人の手が入らなければ豊かな森林にはなりません。

手入れを行うことで、良質の木材の生産や水資源の保護や国土保全等の公的機能を確保し、健全な森林を育成することができます。

ここでは森林組合で行っている各種補助金を活用した事業のご案内をさせていただきます。



各種補助金計算例

おすすめ!!!

施業区分 (説明)	造林	下刈	除伐	間伐(切捨)	間伐(搬出)	不要木の伐採
補助対象林齢	地拵え及び植栽	植栽木周囲の雑草の除去	植栽木周囲の雑木の除去	植栽木の間引き	植栽木の間引き伐採木の造材・集積・搬出	造林目的樹種以外の不要木伐採
	伐採跡地等	植栽後10年以下	植栽後25年以下	植栽後25年以下	植栽後40年生以上	植栽後36年生以上で長年間伐等の手入れのされてない山林
負担額 1反当たり (1000m ²)	約2,000円	約2,000円	約3,000円	約10,000円	お支払 約50,000円/ha	なんと0円 詳しくは次ページで!!
備考	現況を調査し、見積書(施業提案書)を提示させていただきます。山林の状況によっては負担額が増えることもあります。					
	(再生の森事業で実施) 水と緑の森づくり税を財源とした、緑豊かな森の再生を行う事業です。					



手入れが遅れて
雪害の被害にあってしまった山林。
こうなってしまう前に、早めの手入れを!!

大田市森林組合では、山林所有者の方の森林経営のお役に立てるような様々な事業を行っています。

造林・下刈・除伐・枝打・間伐など各種の事業には一定の要件を満たせば補助金が交付されます。

山林所有者の方々の負担軽減、利益還元など行えるように事業の提案をさせていただきますので、

『うちの山はどうだろう?』、『事業をしてもらうのにどのくらいかかるの?』など思われたら大田市森林組合へご連絡、ご相談をお待ちしております。

※見積もりは無料ですでお気軽に!!



父親が山を育てていたけど自分は
「どうしていいか分からぬ」



山はもつてないけど荒れ放題

ほったらかしの山林はまず不要木の伐採をしたり、密集した木を間伐することから始めませんか？

木の年齢が36年以上経っていたら「再生の森事業」という補助事業で山の手入れが出来ます。

交付金として

- 不要木の伐採1ha当たり最高で約17万円もらえます

その他には

- 必要に応じて不要木の伐採跡地への広葉樹の植栽1ha当たり3万2千円～19万7千円(50本～300本)
- 侵入竹の伐採・整理1ha当たり最高で61万9千円など



費用は

大田市森林組合が不要木の伐採をすると約17万円(1ha当たり)なので、この事業を使えば…

タダで不要木の伐採ができます

山林を変える第一歩。

森の再生をお考えなら、大田市森林組合 0854-82-8500へお問い合わせください。



間伐作業



間伐を行わないと、下枝が枯れ上がり、どの木も細長いモヤシ状になってしまいます。

また、下層の植生がないので、雨風で木の根がむき出しとなり、土砂崩壊等の山地災害が起きやすい森林となってしまいます。

間伐された森林では林内に光が入り、下層の植生が生じて、森林の土壤が守られ、生物多様性につながります。

また、残された木々の成長が促進されるため、二酸化炭素をたっぷり吸収し、温室効果ガスの削減機能も發揮します。

※水と緑の森づくり税（個人1人あたり500円／年）の税収を水と緑の森づくり基金に積み立て、その基金を基に運用されています。

小さな依頼でも ご遠慮なく

大きな山での植林作業。
作業が完了した時の様子は壮観です。
見た目には、確かにこんな大規模な
作業が目立ってしまうのかも知れません…



ですが、実際にはそんな仕事ばかりではありません。
大田市森林組合では、もっともっと組合員さんの皆様に身近な
作業も行っています。
家周りの木の伐採、除草。枝降ろしや墓掃除、などなど…



また、昨年もご案内しましたとおり、組合事務所内
では色々な資材等も販売しております。
苗木は多数の樹種を1本からでも取り扱います。



組合員さんのご依頼なら、
いろんな作業をできます。
仕事の内容や量に関わらず、
まずはお気軽にご相談ください。

☎0854-82-8500

さて、林業政策の改革が進められる中、当組合も6月より現場職員の就業体制を変え、新たなグループ制を設けました。リーダーをはじめ現場の職員一人ひとりが様々なニーズにお応えできる“職人”になれるよう日々研鑽して参りますのでよろしくお願ひします。また、この通信を通して組合員の皆様がご自分の山や周辺の現状、環境保全について少しでも気にかけていただきつかけとなればと思います。（森林経営・保全についてのご相談は当組合編集委員までお寄せください。お待ちしています）

今年も（比較的）若い世代！7名で「銀の森林通信」第2弾の編集会議を始め、昨年の反省と2作目のプレッシャーの中、悶々としながらも慣れない編集作業を試行錯誤の末、ようやく発行まで辿り着きました。皆様に想いが伝わればよいのですが…

森呼吸
／編集後記／

○組合員さんの移動等がございましたら、組合までご一報ください。
○来年度は総代さんの改選も実施され、年明けから地区総代会等でお世話になりますが、よろしくお願ひします。